

男女共同参画の推進に関する取組み

平成26年度
さぬき市

● 男女共同参画講演会

私たちの暮らしはどう変わるか ～男女共同参画社会実現の先に～

仕事が多忙で家事も子育ても妻に任せきりであったが、海外赴任をきっかけに、自ら料理を行い、子どもたちと関わる時間を増やす中で自らの成長を感じ、ワーク・ライフ・バランスの重要性を深く理解できたと話してくださいました。また、報道現場の最前線から見える、国内外の男女共同参画の推進状況や日本の目指すべき方向性も分かりやすく説明いただきました。

- ・日 時 平成26年11月24日(月)13:30～15:00
- ・場 所 さぬき市志度音楽ホール
- ・講 師 TBS報道局解説・専門記者室長 杉尾 秀哉 氏
- ・参 加 者 262人



● 市民グループによる企画事業 ～市民企画講座等・市民企画講演会～

男女共同参画を広く推進するため、市民による市民のための企画事業を募集しました。平成26年度は、地域で活動している5団体がワークショップや講演会等を開催し、1団体がさぬき市情報BOOKを作成しました。

パープルリボンプロジェクト	プチむらさき	参加者約120人(1回)
DV防止啓発活動の認知度向上に向け、DV防止のシンボルカラー「紫色」にこだわった手作り商品の販売を行いました。また、男女共同参画パネル展や絵本の読み聞かせ、紫色のビーズを使ったワークショップ(プレスレット作成)も同時開催しました。		
男女共同参画の視点から介護のあり方を探る	さぬき市友好翼の会	参加者のべ127人(全3回)
介護保険の仕組みの解説、在宅介護体験談、私たちが望む介護のあり方についてのワークショップの3回シリーズで開催しました。介護する側・される側の気持ちを考えながら、自分らしく老後を迎えるために必要なことは何か、男女で学びあいました。		
地域の中で、その人らしく生き活きと生きるために！	こころ21さぬき	参加者のべ70人(全3回)
その人らしく生きるためには、自分が住みたい場所で、自分の力で生活できることが重要であると考え、地域の仲間同士で協力し合えるよう、健康寿命を延ばすための体力づくりや自分でできる防災対策などを学べるセミナーを開催しました。		
本人・家族にとっての介護保険制度の利用の仕方と施設の選び方を考える	さぬき市女性団体連絡会	参加者75人(1回)
社会福祉法人さぬき 特別養護老人ホーム玉藻荘 中村多恵美施設長を講師に迎えて、講演会と簡単にできる介護予防(歌・ストレッチ体操)を行いました。		
防災について考える事業	竹×まちプロジェクト	参加者20人(1回)
「災害時の地域の孤立に備えて！」をテーマに、講演会とワークショップを行いました。ワークショップでは、災害備蓄用食料に頼らずとも、身近にある竹と家庭にある乾物などを使って孤立した中でも対応できる技術などを学びました。		
さぬき市でいきいきと暮らすための情報BOOK	いきいき市民の会「明風」	
さぬき市でいきいきと暮らすために役立ててもらえるよう、様々な生活情報を男女共同参画の視点で1冊の本にまとめました。子育て・ごみの仕分け・見どころスポットなどをはじめ、簡単な手話も紹介しています。		

● 男女共同参画防災セミナー

「ひとり」のときに地震がきたらあなたは どうする？ ～おひとりさま時の心構え～

いつ発生するか分からない巨大地震を冷静に乗り切り、どんなときでも誰もがいきいきと暮らせるよう、日ごろの備えや地震発生直後の対応など、「自助」を学ぶセミナーを開催しました。市危機管理指導監による講演のほか、さぬき市男女共同参画推進市民サポーターが、防災グッズ・どこでもできるリラックス術・非常時でもできる簡単＆おいしい食事レシピを紹介しました。

- ・日 時 平成26年6月28日(土)10:00～13:00
- ・場 所 さぬき市役所301・302会議室
- ・参 加 者 62人



● レディース・ファーマーズ・フォーラム／若者に向けたDV防止啓発講演会

第1次産業で活躍する女性と市内高校生の意見交換会や、市内中学生に向けたデートDV防止啓発講演会を開催しました。